

トリプルソフトバレーのホームページ

活気のある町、野々市町！！

問題点の経緯

対象：野々市町の町民

現在、高齢化社会が進むにつれて
医療費が増加している

そこで

スポーツを通じて、医療にかからない健康
な身体づくりを目的としたイベントを企画

問題点の現状

野々市役場では町民の健康増進の一環として
生涯スポーツの普及に取り組んでいる。

開催例	参加人数
・野々市じょんからの里マラソン	280名
・さわやかスポーツフェスティバル	400名
バドミントン	57名
ボウリング	47名
ソフトボール	140名
ニュースポーツ	15名

ニュースポーツ

ニュースポーツの種目



トリプルソフトバレー



図1 トリプルソフトバレー体験会

月に2度開催しているトリプルソフトバレー体験会の
参加人数を増やしたい。

問題点の存在立証

トリプルソフトバレー体験会の参加人数

年度	月	人数(人)
平成20年度	4月	0
	5月	0
	7月	7
	8月	10
	9月	9
	10月	19
	11月	15
平均		7.5

体験会の参加人数が少しい。

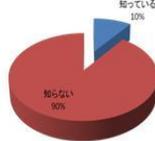
体験会の参加人数が集まらない理由

聞き取り調査

対象者：野々市在住のKIT教職員19名

質問：トリプルソフトバレーを知っているか??

結果



→ 知名度が低い

解決度の指標

体験会の参加人数の増加

現在の参加人数
約7.5人/回

↓
12人以上/回

変更不可能な条件

- 体験会の最大コート数：2コート
- 体験会の最大チーム数：8チーム
- 体験会の最大参加人数：32人
- 場所：野々市町民体育館
野々市町スポーツセンター

アイデアの説明

トリプルソフトバレーを紹介するHP：ホームページ

掲載する内容

TOPページ・・・更新情報、カレンダー、問合せ先

↓
TOPページから分岐する内容

トリプルソフトバレーの情報、体験会の情報、大会の情報

トリプルソフトバレー紹介HP

TOP画面



部分イメージ図



部分イメージ図

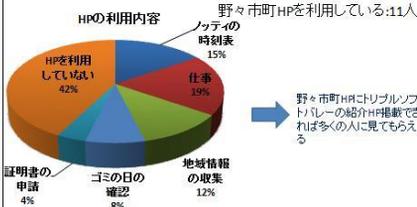


部分イメージ図



解決策の有効性

アンケート
対象者：野々市町在住の教職員
回答者：19人
野々市町HPを利用している：11人



解決策の受諾性

・ホームページ自体は既存のサーバーを借りる
→コスト面での負担が小さい。

・CSSは複雑な技術を使用しない→管理者に負担をかけない(管理者：役場の職員)

金沢工業大学
2008年度 工学設計 II

プロジェクトテーマ：健康で、元気な人が集う町づくり
チームID : HM3026
チーム名 : Z
チームメンバー名：中村 稔、日野小百合、藤本瑠平、
細畑友博、松井潤弥
担当教員名：松本重男